

大動脈弁狭窄症により摘出された大動脈弁のアミロイド蛋白の同定

京都府立医科大学病理診断科は表題の研究を実施します。実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

アミロイドーシスは、異常に折りたたまれたタンパク質がアミロイド線維を形成し、様々な臓器に蓄積して、臓器が正常に機能しなくなり、臓器不全や死に至ることもある病気です。本疾患群に対する根治療法は、原因となるタンパク質の違いにより異なるため、アミロイドの原因タンパク質を同定し、どの病型であるか確定することが重要です。特に、トランスサイレチンを前駆蛋白とする全身型アミロイドーシスは加齢により発症するとされ、主に心臓に沈着し、心不全を起こします。トランスサイレチン型心アミロイドーシスには大動脈弁狭窄症が高頻度に合併することが知られるようになってきましたが、大動脈弁へのアミロイド沈着の詳細は分かっていません。本研究では、当院で大動脈弁置換術を行った摘出大動脈弁を用いてアミロイド原因タンパク質を同定することによりアミロイドーシスと大動脈弁狭窄症との関連についての解明を目指します。

研究の方法

・対象となる方について

2014年1月1日から2021年12月31日の間に本学心臓血管外科で大動脈弁狭窄症にて大動脈弁置換術を受けた方

・研究期間：本学医学倫理審査委員会承認日～2025年3月31日

・方法

本研究は、令和2年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）「アミロイドーシスに関する調査研究」（研究代表者 内木宏延教授）アミロイドーシスに関する調査研究班で開発した抗アミロイド軽鎖抗体や抗トランスサイレチン抗体を用いて病理組織標本の免疫染色による病型確定を行います。確定困難例は、共同研究施設等において、質量分析によるアミロイド前駆タンパク質の同定を行うことで病型を確定します。

・研究に用いる試料・情報について

診療の過程で取得された手術で摘出した病理組織標本、パラフィンブロック、臨床情報（性別、年齢、現病歴など）等。取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。また、この研究の成果を発表する場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた試料・情報は共同研究施設である福井大学と熊本大学に提供しますが、個人情報は研究責任者（京都府立医科大学人体病理学講師 宮川 文）の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・試料・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報や病理組織などの試料は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学病理診断科において研究責任者の下、試料は5年・情報は10年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。将来、新たな研究を行うためにその試料・情報を利用させていただく場合は、前述の保管期間を超えて保管し、あらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

1. 京都府立医科大学における研究組織

研究代表者・研究責任者：

人体病理学・病理診断科 講師 宮川 文

研究担当者：

感染制御・検査医学教室 学内講師 山野哲弘

循環器内科 大学院生 藤本智貴

循環器内科 大学院生 松原勇樹

人体病理学・病理診断科 助教 長峯理子

人体病理学・病理診断科 助教 森永友紀子

人体病理学・病理診断科 助教 田中顕之

人体病理学・病理診断科 専攻医 本田行平

2. 共同研究機関等およびその研究責任者

福井大学医学部、病因病態医学講座分子病理学

教授 内木宏延

熊本大学大学院生命科学研究部、脳神経内科学

教授 植田光晴

お問い合わせ先

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

月～金曜日、9:00-17:00

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465

京都府立医科大学人体病理学・病理診断科

講師 宮川 文

電話 075-251-5668、FAX 075-251-5677